



ステージ	タイプ	7つのお金の教養							次の ステージに いくために
		① 考え方	② 貯め方	③ 使い方	④ 稼ぎ方	⑤ 増やし方	⑥ 維持管理	⑦ 社会還元	
STAGE 1	生活不安定 型	お金に対して 偏った考えを 持っている	お金が貯まらない	借金をしないと 生活が回らない	目の前の 生活のために 働いている	運良くお金が 増えないかと 日々願っている	お金の貸し借りや 詐欺でトラブルに なったことがある	与えられることは あっても 与えたことはない	お金の習慣を 見直し、 家計を健全化する
STAGE 2	環境依存 型	将来の 不安があるが 答えが見えない	貯蓄ができています	毎月、 何に使ったか わからない 出費が多い	安定した収入を 得ることが できている	低金利に 不満はあるが、 預貯金しか していない	貯蓄の総額を 把握している	身内や親友の 助けになることが できている	得意分野を 見つけるために、 まず頭脳に投資する
STAGE 3	堅実管理 型	将来の不安を 解決するため、 日々行動している	先取り貯蓄等、 貯蓄の仕組みが できている	支出を コントロール できている	数年後も 収入が増える 働き方が できている	投資信託、 401kなどの 受け身の運用のみ	持っている資産 (家・車・保険等)の 時価を知っている	募金や ボランティアに 参加した ことがある	興味のある分野に 時間とお金を投資し、 成果が出る方法を 確立する
STAGE 4	自己完成 型	経験と失敗から 成長する思考を 持っている	年齢の2乗の 貯蓄がある (例: 40才×40= 1,600万円)	毎月、一定額を 自己投資に 使っている	時間ではなく 成果に連動した 収入の仕組みが 持っている	得意分野に 投資して 成果を出している	5年以上、 純資産を 減らしていない	お金や知識、経験を 提供することを 継続している	好きで、 かつ得意な分野で 安定収入の仕組みを 構築する
STAGE 5	長期安定 型	物事の本質を つかむ能力を 持っている	生涯必要な額の 貯蓄がある	人の成長や、 文化の継承などに お金を使っている	少しの時間で 多くの収入を 得る仕組みを 持っている	再現性ある 運用方法で、 運用収入が 支出を超えている	労働収入が なくなっても 生活ができるための 資産・収入を 持っている	自分が 持っているものを 社会に還元する 仕組みが できている	増えた資産が 減らないように、 投資のリスクを 分散する